

議 事 録

日 時： 2024 年（令和 6 年）2 月 11 日（日曜日） 礼拝後練習の後（旧館・研修室 B にて）

出席者： 聖歌隊 18 名、上田先生（総数 19 名）

議 長： 川津（以下、隊員は敬称略）

1. 開会のお祈り（大西隊長） ※能登半島地震のための祈りを含む

2. 昨年度の聖歌隊活動について（企画：内田恵美子）

配布書類： 昨年度の聖歌隊活動について

（追加情報・軽井沢合宿について）

昨年 10 月個人旅行の時に、コロナの間に代わられた新任の箭野（やの）先生にご挨拶し、日曜礼拝の様子などを伺ったが、まだ、大勢が会衆の前に立ってコーラスできるという状態ではないとのこと。また、聖路加聖歌隊の活動への認知が薄く感じられた。今後コロナが収まって、またショー記念礼拝堂でご奉仕を再開したいと思った時には、江夏先生に口添えしていただき、今までの歴史などもお話しして、きちんと紹介した方がいいと思いました。とにかく、今はまだできないということでした。

3. 財務報告（内田研吾）

配布書類： 2023 年度決算（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

→ 監査報告（川津）：通帳コピー等詳細に確認し、帳簿はきちんとしており、銀行残高も間違いないことを確認した。

今年度の隊費について

活動がないのに隊費だけいただくのは申し訳ないので、今年も前年どおり徴収しません。大きな支出（キャソック総取替えなど）が発生した場合に備えてとっておきたいと思います。

4. 今年度の活動について（大西隊長）

①人事

退隊 2023 年 12 月 31 日付 田邊（ベース）、荒川（テナー）、大竹ひろ子（ソプラノ）、

それ以前： ニルソン（アルト）

休隊 倉本：2024 年 6 月 30 日まで

＊出席した大竹夫妻からご挨拶

大竹名誉隊長 音楽が好きですから、聖歌隊に来ないということは考えられません。引き続きよろしくお願いします。

大竹ひろ子 夫婦そろって 70 代&80 代になりまして、今まで若い時には何にも思わなかったのですが、神奈川県逗子から築地まで通ってくるのは一日仕事で非常に疲れるようになって

てしまったので、(自宅の) 近くに歩いて 10 分かからないところに教会があるので、そこへ行行って続けて礼拝に参加していきたいと思っています。ただ新しい教会に行きますと、聖歌を歌うと一人で歌うはめになっちゃいまして恥ずかしく思いつつ歌っていますが、とても穏やかな教会です。春のミニ合宿で行ったことがあるので皆様の中にはご存じの方もいらっしゃると思いますが、そこで礼拝を守っていききたいと思っております。ありがとうございました。

(コメント by 大西隊長)

ご夫婦とも私たちの家族ですので、いつでも来ていただいて、いつでも歌っていただきたいと思います。大変恐縮ですが、名簿からはひろ子さんは消えています、大竹隊長に関しては名誉隊長ということで、ご存命の限り名簿に残ります。よろしくお願いします。

(大西隊長)

上田先生が他教会に異動なさるということで、その辺の事情と今後どうなさるか等、また中根さんの扱いについても合わせて、わかる限り皆さんにお話ししていただきたいです。

上田先生より：

礼拝の後で少し言いましたが、(聖路加の) 法人の職員としては定年退職で、チャプレンに関してはそういう決まりがあつて。東京教区からは辞令が出ます。聖路加の法人(以下、法人)とは個人的には契約します。ですが、東京教区と法人とは明文化した関係がなく、ちゃんとしましょうということが4~5年前からあり、65歳になったら定年退職ということになりました。万が一の場合に備えて、チャプレンはもう1期(3年)だけ更新して引き延ばすことができるという条項を作りました。その場合は、必ずチャプレン定年65歳の誕生日前に法人と東京教区が話し合うことになりました。

ということだったんですが、主教さんがボクの誕生日の前に来てたんですよ。理事長さんと何の話をしたのかはわかりません。ここからは推測ですが、第1例目から不規則な事例にしない方が良いのではという話になったのではないかと推測しています。あくまでも推測です。ごめんなさい。とにかく、そこで決めた通りに65歳定年退職、です。また教会の定年は70歳なので、教会の方の異動ということで扱いましょうということで落ち着いたのではないかと思います。

三光教会の牧師、大森聖アグネス教会と真光教会の管理牧師もしてください、ということになりました。あっち行ったりこっち行ったり相変わらずです。三光教会は、ご存じかもしれませんが、礼拝オタクの人たちが集まっている所だという噂を聞いてまして、クワイヤーもあつて(大竹名誉隊長：音大出がいるそうですね。クワイヤーは熱心だそうですね。聖路加聖歌隊について詳しい信者さんもいるとか)。

大学の授業はシラバスの締め切りが過ぎているので、とりあえず提出済みでして、学長が「上田先生の名前を出しているののでやってください」と言われ、非常勤講師で少なくとも1年は授業だけ週一は来るということで関わることになると思います。

次に来るのは成・成鍾(そん・そんじょん)先生。慣れないかもしれないので、来た時に相談にのったりするかもしれません。

いつかは(去ることになる)とは思ってましたが、今年とは思ってなかったもので、頭では理解していますが、まだ気持ちがついていってません。引越しも、しなきゃなーと思ってるんですけど、

なかなか。

亜樹子はこちらが忙しいので離れられない。三光は毎朝 6:30 から礼拝をやっている教会なので通うのは難しいから、夫婦別居せざるを得ない（場所は旗の台、東急池上線か大井町線）。牧師館に住むことになると思う（荻原君は副牧師館にいるが浅草に行っちゃう）。香蘭女学校は立教にいたシュタール先生が着任、お互いに手伝いながらということになります。

中根さんは同い年で、中根さんも定年退職。アルバイトでずっと非常勤の職員として勤務してくださっていたので 65 歳でおしまい。手伝うとしてもアルバイトで週一日お願いできるかどうか。ちゃんとした人を雇わなければということで、候補者を面接しているところです。

イースターまでは、います。（隊員：口々に「寂しくなります。」）

（コメント by 大西隊長）

長い間、聖歌隊を導いていただいていた感謝しています。とはいえ、同じ地域にいるので、またお会いすることもあると思いますし、聖歌隊のことを見捨てないでいただきたい。聖歌隊のメールに上田先生を残しておきます（運用は考えます）。よろしくお願いします。

②奉唱アンセムについて

配布書類： 2024 年アンセム予定表

男声が非常に少ないので、音楽委員に指揮していただいたり、譚タンに伴奏してもらったり、色々な方に支えられてこの 1 年もやっていこうと思っている。

アンセムは色々考えて選んだものだが、委員の方々からはあまり意見がなかったのが認められているのだろうと思っている。ただ、あくまで予定表なので、やってみて悪かったら、あるいはできなかつたら、（順番を）他にまわすと考えてます。

大竹名誉隊長が不在でも、男声も縮こまらないで、ちゃんとやりたいということで、チャレンジ精神で新曲をかなり入れている。人数少ないですが、がんばってみよう。大竹名誉隊長も体調が良い時にはできるだけ来てください。

＊新曲・難しそうな曲＊

4/28 Lift High the Cross ケヴィン先生の愛唱聖歌、日本語に訳した曲、どこでもやっていない

5/26 Come, Holy Ghost (Attwood) 新曲。伴奏付き

7/14 Panis Angelicus (Franck) 女声合唱

8/11 God so loved the world (J. Stainer) 1 回やったことがあるが、難しい

9/22 慈しみがありませんように (Rutter) 日本語・伴奏付き

12/8 Ave Verum Corpus (Faure) 新曲。女声合唱、手強い

荒川君が残してくれた音取り用のホームページに大体の曲がアップされているので、自分のパートがわかると思います。練習の仕方は色々ありますが、（全体練習時に）クワイヤ席でパート別にやろうとか、キーボードでやろうとか、音取りをどうしようとか色々考えてますが、基本的にはご自分で音を取ってください。これはお願いします。萎縮しないように、とにかく頑張ってください。

5. 今年度の委員

信任の可否： 満場一致で可決

隊 長 大西信一

財 務 内田研吾 *隊長補佐を兼務

お金を集める必要がなくなったので決算書を作るだけです。

企 画 内田恵美子 大きな礼拝の段取りをメールする程度ですが、スムーズにいくように努力いたします。

音 楽 斉藤 去年から慣れない指揮をやらせていただいてご迷惑をかけていると思っていますが、今年もやることになっているので、引き続き勉強いたしますので、よろしくお願いします。

本多 (特になし)

遠藤 私も慣れない指揮をやらせていただいて、みなさんにご迷惑をかけていると思いますので、これからもよろしくお願い致します。

会計監査 川津 今までは他教会訪問や軽井沢合宿などの活動で出費が色々あったのに、全然なくなってしまう、仕事が簡単すぎて面白くないので、今年からは活動してほしいなと思っています。

6. 聖歌隊員から一言（提言・希望・感想など、何でも）

斉藤 音楽委員としては既に言ったとおりですが、聖歌隊員としては、がんばって歌いたいなと思っています。それから、チャペル委員なので聖歌隊とチャペルをつなぐ役割を引き続き頑張りたいと思います。

中川 お休みしがちで大変申し訳ありません。父がパーキンソン病ですが活発に活動しているので付き添わなければならないことが多く、突発的なことも発生したりするものですから、急にお休みしたり、色々ご迷惑をおかけしてすみません。でも、聖歌隊に来ると気持ちがほっとするので、中に入れて、いさせていただけたらと思います。

本多 一所懸命歌っていこうと思っています。

加藤 去年の途中、イースターからチャペルに戻ってきて、隊長も代わられて、聖歌隊もまだ手探りなところがありますが、聖歌隊席に座ると「戻って来た感」がありますね。まず事務的なことで以前にも言ったことがあります、会衆の陪餐が始まった後に祈祷書を回収していますが、（聖歌隊員が動く）会衆席から丸見えでみっともないので、せめて一列分をまとめるだけにとどめて、前の列に渡すのはやめてくださいと再度お願いしたいです。それともう一点は、アンセムの曲目について。去年、大西隊長に申し上げたこともあります、（色々と試行錯誤で）難しいと思いますが、練習期間や、聖歌隊は新曲が苦手ということもあり、時間を取って練習できるタイミングでアンセムを歌えていったらいいなと思います。

川津 今年のアンセム予定表を見て、女声合唱が3曲もあって寂しい。毎年言っていますが、新しい若い男性を引き入れたい。去年から2人来たがうまくいかなかった（宗教的なものは合わない、とか）。今年も引き続き、教会音楽に興味がある方でぜひという方を引き入れていきたい。来年は女声合唱のアンセムがなく、男声が豊富にいるような聖歌隊にしたいと思っています。

内田研吾 チャペルで礼拝ができるようになったことが嬉しいです。（聖歌隊には）チャペル委員が3名いるので（斎藤・熊澤・内田）、マル秘のことはあまりないですが、できるだけチャペルの動向を知らせるようにしたいと思っています。

内田恵美子 女声で一番年上で、健康に色々問題が出てきているので（先日は目の手術もしたし、左耳も悪いし、等）、あちこち悪いですが、とにかく健康に気を付けて、なるべく細く長くやりたいと思っています。日曜礼拝も第2・第4だけでなく、第1と第3も我が家は来ることにしており、元気な間は日曜礼拝と聖歌隊のご奉仕をできたらと思っています。

熊澤 1つは（加藤さんがおっしゃっていた提言というか）祈祷書は礼拝中に回さない方が良く、終わってから全部しまえばいいかなあと、ずっと思っていました。もう1つは、嬉しいことかもしれませんが、ある日の礼拝の後に、とある会衆の方から「今日のあの歌、すごくきれいだけど何という曲？」と聞かれたのですが、実は陪餐聖歌で会衆も歌ったことがある曲なのに、そんな風を感じてくれたんだなあと思いました。聖歌集は本当に素晴らしいから、丁寧に歌ってあげたらいいなあと思うのでした。

大竹ひろ子 （もう発言しました。）

大竹名誉隊長 このクワイヤを始めた頃、（聖路加国際病院の）用度課に田島という男がおりました。彼が熱心に始めたのがこのクワイヤでした。関さん等と一緒に私がしょっぱなから、とにかく、つなげるぐらいでやっていますけど、今の所、身体の方もなんとかやっていけそうなので、お手伝いするぐらいの程度しかできませんけれど、頑張っていきますのでよろしくお願いします。

村岡 自分の立場がよくわからないのですが、ここにいること自体もすごい違和感をもちながら（この場に）います。当初、去年のイースターの時に、とにかく男声が足りないと大西君から頼まれて、それで当たり前なのですが「サクラでいいよ、居るだけでいいよ」と、「居るだけだったら」ということで参加させていただいて、パート練で一人で歌わされたりとか、そういうことで、約一年近くになっております。個人的なことで恐縮なのですが、義理の兄が意識不明で、たぶんこれから植物人間で何年か生きそうだということで、みんなびっくりして、どうしようかと思っていまして。そういうことで、今のところ聖歌隊をずっと続けられる保証もないのですけれど、できるだけ参加していいのかどうかというのを。軽いベースの声ですので皆さんに対して、この合唱に対して何のお役に立ってるのかどうか、邪魔してるのではないかと考えているくらいなので。今後、難しい選択をしなくちゃいけないかなと思っています。元々は立教の学生時代に聖歌隊で歌っていた関係で、昔取った杵柄は全くないのですが、少しは、ということ

で、今のところ参加させていただいている状況です。

(コメント by 川津：いるだけでほっとします、ベースが一人いる、と。ぜひ、ほっとさせてください、お願いします。)

遠藤 去年から斉藤さんと一緒に音楽委員になりましたが、大竹さんが指揮していた頃はすごく気楽に歌っていました。自分が指揮するなんて考えたこともなく、今の状況はやらされてる感じに思っています。勉強しなければならない。大竹さん、最初からずっと続けて指揮してくださってありがとうございました。本当に偉大です、ありがとうございました。

柳原 村岡さんを除けば一番新しく 2015 年に入隊したのですが（コメントあり：熊澤さんの方が新しい）。今みんなで歌う練習量がすごく少ない。大竹さんが隊長だった時は金曜日の夜も来てたし（練習が）多かった。自分にとってはいつも新しい初めての曲ばかりやっていたので、わりと難しく日本語じゃない曲で練習はとても有難かったが、今は全体での練習量が少なくなりました。歌ったことがある曲は多くなったが、それでも 1 回、歌っていても 2 回位しか歌っていないので、聖餐式のために、土曜日になると家で一所懸命に練習している。ですが、金曜日の夜に昔のように集まるのが大変だったら、もしできたら、日曜日聖餐式後の練習時間を増やすなど、できるだけ、練習量を増やしてほしい。半面、全然練習してないのに大丈夫なのかなと思って聖歌隊に来てみると、皆さんすごく上手に歌っているので「さすが聖歌隊と」いつも思っている。ですが、練習量をもう少し増やす工夫が何かないかともいつも思っています。

自分は、荒川さんが作成したパート別音源のホームページで一所懸命練習しているが、音取りは大変だし、横にいつも田島さんがいて正確な音なので声を聴きながらうっとりしているが、全体での練習量をもう少し増やした方がいいんじゃないかなと思います。

(コメント by 川津： 自分の経験から。自分は歌が下手です。今までは練習があって何回も歌う機会があったけれど、今はない。だから家で必死です。midi を使ったり、YouTube を聴いたり。)

大西礼子 だんだんみんな年を取ってきて、できないことも増えてきて、声も衰えてきているのですが、その中でも最近、光となるような感じがしているのは、女性の方たちが指揮や伴奏などしていること。人はそれぞれ色々な賜物を与えられているので、そういう特技とか才能がある方はどんどん、歌以外のことでも発揮していただけたらいいなと思う。例えば、対人関係で他人との間がうまくいかないような時に緩和するようなアドバイスが上手にできる方とか、恵美子さんもそうですよね、あとは歌ができる方とか、遠藤さんも歌は確かにお上手ですがピアノもすごくて、引き続き、そういう賜物をどんどん聖歌隊で生かしていただけたらいいなと思います。あと今一つ思ったのは、「主よ、人の望みの喜びよ」を今度いつか、熊澤さんのフルートでやってみたいなと思います。

金澤 しばらく合宿をやっていないくて、今後もなかなか難しいかもしれませんが、過去の合宿の時に上田チャプレンが一緒に行ってくださって、本当にいい時間を過ごさせていただいたと思っているので、あらためてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。それから、やはり練習時間は確保しなければいけないと思うのですが、大変心苦しいのですが、80 歳を超え

た母親が近くに住んでいますので、なるべく日曜日の午後は一緒に食事をしたいと考えているので、できたら朝早い時間の練習をしてもらえるとありがたいと思っております。

田島 今日のアンセム、ケルビム・ソングですが、前回の日曜日の礼拝後の練習時に（勘違いして）楽譜を持ってきていなかったのですが、ほかの方の楽譜を覗きながら、大竹隊長にずっとご指導いただいていた曲だし、こんな感じだったかしらと一緒に歌っていたら、柳原さんが「ソプラノの和音が合っていないから家で見えてきて」と一言言ってくださって。今、土曜日まで仕事があって忙しいのですが、昨日朝からピアノの前に座って他の曲も弾いてみたら、（今の仕事は黙ってするので）話している声が音階の音にフィットしていなかった。それは何度か自分でも気付いていたのですが、2週間全く歌わないで、楽器も弾かないでいると、音階の音がちゃんと出せなくなっている。鋭い指摘をしていただいて、新しい方が気付いて言うてくださることもすごく重要だなと思いました。2週間音楽に触れない・楽器を弾かない・歌わないってすごくダメなんだなあとつくづく思って、2週間の放置の危険性を切実に感じているので、奉唱前の金曜日の夜とか、間の金曜日とか、もう少し集まって歌えたらありがたいなと思っています。

間庭 大変休みがちで申し訳ありません。今、看護小規模多機能というところで働いてまして、同僚のナースが4児の母で土日が絶対に働けないため、自分が土日働かなければならないことが多くて、来れないことが多くて。休隊なさる方がいたので、自分も休隊した方がいいのではとったり。来れるときに来たいなと思っています。練習量について、（日曜）朝の練習で、以前は何度かダメ出ししながらやっていたと思うのですが、最近は一回しか通さないで、聖歌も声が出ないまま本番に臨む感じがするので、時間がある限りもうちょっと練習した方がいいかなと、いつも思うのですが、未だに声を出してはいけないというようなことがあるのでしょうか。

（コメント by）

遠藤 今は陪餐聖歌とアンセムしか歌わないが、以前のように礼拝で歌う全曲と一緒に歌った方が発声（練習）にもなる。以前は10時に集まって全曲歌っていた。

大西礼子 近くに住んでいる方は金曜日夜の練習があったらいいなと思われるかもしれませんが、さっきの大竹ひろ子さんの話じゃないですが、年を取ってくると遠い所から通うのが大変になってきます。日曜礼拝前の金曜日に練習に出てくるよりは、もし可能なら15分でも早く始めたとしても、礼拝当日の日曜日に練習していただく方が、隊員にとって物理的な負担が少ないと思います。

川津 足が悪くなったので、夜、帰る時が本当に怖いです。ライトつけながら帰りますが、もし練習時間を延長するのだったら、できたら昼間の間にやっていただけたらと思います。

また、個人練習用には声をセーブする道具があるのでお勧めします。（丸くてゴム製、声を出しても外に聞こえない）

川津 以上で全員の発言が終わりましたが、我々聖歌隊は一つの家族ですから、フリーに何でも言える機会を作ったらどうかなと思います。最後に大西隊長から。

大西隊長 皆さんの話を聞いて思ったのは、

練習に関して。練習したいです。したいけれども、私たちの聖歌隊はパリッシュの教会とは違って病院にある教会なので、色々と制限があります。感染症課の方と直接色々お話ししているわけではないですが、みなさんご存じの通り、今まだコロナ・インフルエンザ等々で病院は感染症に関して非常にガードしています。そうすると合唱というものは非常に時間が限られる。どうやって練習を増やすかということは、今後の病院との折衝になると思っています。それをおわかりいただいて、なるべく練習をするようにはしますけれど、個々、今までと同じく、あるいは今まで通り、ご自分で音取りをやっていただきたい。指揮をする方々は、自分を含め、その曲を一所懸命勉強して、どういう所をポイントとしてアンセムに作り上げるか、その上でみなさんと一緒に曲を作り上げていきたいと考えていますので、練習に関しては今後のことはお任せください、というか委員にお任せいただいて、病院との関係で場所・時間等を色々考えていくことになると思います。

朝 10 時からの練習で、今までは聖歌は全曲を歌っていたというお話もありました。自分も聖歌をやった方がいいと思いますので、やってみますけれども、そうするとアンセムはどうなるかということがあるので、少し考えながらやります。実は、礼拝で歌う聖歌が、練習の必要がないのではと思う聖歌が何曲か続いていましたので、練習は不要かなと考えていました。プラス別の問題で、みなさんの中で発声しないと歌えないという方もいらっしゃるらしい。そのままパッと歌える人と発声が必要な人がいる。個々、色々問題があると思いますが、やっていていただきたい。

村岡君が遠慮なさって色々言っていますが、彼は真っ先に練習に来る、トイスラーに一番早く来る聖歌隊員は村岡君なんです。非常に感謝していますし、とっても助けられていると思っています。今後も良かったら聖路加聖歌隊のために一肌脱いでいただきたいと思っていますし、みんなも歓迎していると思います。村岡君、今後もよろしくお願いします。

7. 閉会のお祈り・主の祈り（大西隊長）

欠席者からのメッセージ

望月 いつも体調へのご配慮に感謝します。共に神様の導きを信頼し、信仰と賛美の歌を続けたく
思います。

退隊者からのメッセージ（代読：大西隊長）

荒川 住宅ローンが
長い戦いでして・・・
景気も何か不安定で
合唱はすべてやめて
仕事と家庭に全力投球中です
聖歌隊
なかなか厳しい状況
察しますが
生活あつての歌なので
ご理解 よろしく願いいたします

申しわけありません

みなさんにとって
良い年になりますよう
祈っております

田邊 新年は孫達やその連れ立ちが集まり盛会でした。突然の退隊でご迷惑をおかけし、すみません。
聖路加のことはその後も気にかけています。皆さんで力を合わせて乗り切ってください。皆さんには本当に感謝しています。

ニルソン 11日の聖歌隊総会では、みなさんによりしくお伝えください。
みなさまの上に、主のお守りがありますように。
PTSD 治療のため昨年10月から、聖歌隊を含む教会活動全般にお休みをいただいております。
全然歌っていないので、もう歌えないのでは？とちょっと怖いですが、治療が終わり時期
が来たらまた歌いたくなって復帰するだろうと思います。

（コメント by 大西隊長： インマヌエルで一所懸命頑張っておられます）
